



提供していただく新町地区にある空き家
(写真は昭和58年に空撮されたものです)

会報 NPO法人 黄桜の宿

4月下旬オープン予定!

農家民宿 黄桜の宿

「NPO法人黄桜の宿」の設立目的の一つである「宿泊施設の開設」のため空き家をさがしていましたが、このほど提供してくれました。これが現れ、現在、開設許可申請の手続きを進めています。許可申請は、旅館業法の規制が緩和されている「簡易宿所」の中でも更に規制が緩和された「農家民宿」として行っており、これにより客室面積が33㎡以内に制限されますが、8畳間が2部屋利用でき、5人までの宿泊が可能です。トイレは大小の2器が必要なため、現在1器を増設するため工事費の検討中です。

許可申請手続きは由利地域振興局と由利本荘市消防本部に必要で、両許可を3

2015.3.1
第 2 号
特定非営利活動
法人・黄桜の宿
◆発行責任者◆
事務局
小野 長 清
090-4886-9721

フランス鴨に注文殺到! 「青空レストラン」に出演

東由利特産「フランス鴨」を使った料理が昨年12月に「満点☆青空レストラン」で紹介されました。

東由利フランス鴨生産組合長で当NPO法人の副理事長である金子拓雄さん宅の電話は、放送される1週間前から鳴りだし、放送後は毎日のように注文や問い合わせが殺到、2か月が過ぎた今でも続いているそうです。

フランス鴨料理を提供している黄桜温泉のレストランやしおでは、放送後にフランス鴨料理の注文が大幅に増え、現在も放送前の3倍になっていて関係者を喜ばせています。

人気の「フランス鴨」。2月29日には東北ネットでも紹介され、金子さんの電話がまた鳴り続きそうです。



「満点青空レストラン」の収録風景(黄桜温泉湯楽里・日本テレビホームページより)

月中に得ることが出来れば、4月中ごろまでに室内の清掃やボイラー等設備の営繕を完了し、5月の連休前にはオープンできるよう準備を進めます。食事は保健所への許可申請手続きが整うまで、ケータリングやホームヘルプサービスなどで行うことにしています。

黄桜の宿社員が スキルアップ研修

「NPO法人黄桜の宿」の社員2人が2月19日から3日間、東京の東武百貨店池袋店で開催された「伝統工芸品WAZA2015」に参加し実演・体験などを行ったほか、秋田県のアテナシヨップ「秋田ふるさと館」(有楽町)と「あきた美彩館」(港区高輪)で「伝統工芸体験工房やしお」で作ったわら細工の営業活動をしてきました。

参加した千葉静子さん



「伝統工芸品WAZA2015」で実演・体験の様子

開設にあたりこのほど由利本荘市から「平成27年度」ともしび元氣プログラム事業」として認可をいただき、助成金をいただくことが内定しています。

「全国で受け継がれる130以上の工芸品にふれ、どれにも職人の知恵と技、何より心の温もりを感じた。私たちが作るわら細工にも、これから技と心の温もりが伝わるよう製作に携わっていきたい」と、今後の活動に意欲を見せています。

山梨学院大教授 北朝鮮研究家



宮塚利雄氏(山梨学院
大学教授・新町出身)

「NPO法人黄桜の宿」では新町出身で山梨学院大
学教授・宮塚利雄氏の講演
会を開催します。
宮塚氏は北朝鮮研究家と
して広く知られ「ビートた

宮塚利雄氏講演会開催

けしのTVタックル」など
全国ネットの番組にも出演
しているほか、講演活動も
多くこなされています。
著書には「北朝鮮観光」
「北朝鮮報告」などのほか、
「パチンコ学講座」「日本
焼肉物語」などユニークな
ものなど、その数は10冊以
上にもなります。
このたびは宮塚氏のご厚
意により交通費のみでの開
催とさせていただきます。
開催日は3月20日(金)。
時間は午後3時から4時30
分。会場は有鄰館で、午後
5時から希望者による懇談
会(会費3千円)を黄桜温
泉で開催します。なお交通
費充当のため聴講費として
500円を頂戴いたします。
宮塚氏は「楽しい講演に
したい」としていただきますの
でひ多数お越し下さい。



雪中キャベツ

雪中キャベツは、その名の通り、
雪の中から掘り出されたキャベツのことを
いいます。
雪の中に植えておくことで、糖度が増し
おいしくなります。
雪の中から自分で収穫した、鮮度抜群で
甘いキャベツの収穫体験にぜひご参加下さい

平成27年
3月15日(日)
午前10時~12時
道の駅東由利集合

体験料 一人1,000円
キャベツ5玉(10kg前後)、フランス鴨汁、
黄桜温泉入浴券
(当日限有効)

- 当日はスノーモービルの乗車体験もできます
- 雪中キャベツは直売所で1個300円前後で販売予定です
- ※「直売所」は道の駅東由利の「ぶらっさ」の中にあります

参加申し込みは由利本荘市ホームページ「地域の情報」→「東由利地域」に掲載の「雪中キャベツ収穫体験」からメールするか、下記fax番号に名前、人数、連絡先をファクスしてください。
問い合わせ:東由利グリーンツーリズム研究会事務局 090-4886-9721 fax:2018-803-5194

キャベツ約10kg、フランス鴨汁・黄桜温泉入浴サービス、スノーモービル乗車体験も!

東由利グリーン・ツーリズム研究会は3月15日(日)に「雪中キャベツ収穫体験」を開催します。集合場所は道の駅東由利で、参加者を会場まで誘導します。
収穫会場は金子拓雄同研究会会長のキャベツ畑で、昨年7月に植えた6千株のキャベツのうち、このイベントのために3千株を12月から降り続いた雪の下に寝かせておきました。
玉の大きさは直径20〜30センチで、約0度に保たれた雪の中でキャベツは、凍りつかないようになんぶん質を糖質に変化させるため、

食べると口の中にほんわりとした甘みが広がります。
当日参加者には金子会長が特産のフランス鴨汁を振る舞うほか、黄桜温泉の入浴券(当日限り)もサービスされます。また「NPO法人黄桜の宿」会員がスノーモービルの乗車体験を行います。参加費は一人千円で、収穫したキャベツ5玉(約10キロ)を持ち帰ることが出来ます。残り残したキャベツは後日道の駅東由利の直売所で、1個200円前後で販売する予定です。
参加申し込みはファクスで
018(8803)5194

東由利地域コミュニティバスの運行に向けて検討会が発足!
市内で「交通空白地域」が最も多く、公共交通カバー率が最下位(42%)の東由利地域に、コミュニティバスを運行させようとする動きが出ています。
東由利総合支所が2月4日と9日、自治会の代表やまちづくり協議会、老人ク

ラブ連合会、児童民生委員の代表などを委員とする「東由利地域コミュニティバス運行推進検討会」を開催、今後の推進方法などについて協議しました。
羽後交通のダイヤ改正で4月から往復10便のバスが減ることが公表されており、高齢化により必要性が最大値に達している東由利地域でのコミュニティバスの早期運行が待たれます。